

IR

Investor Relations

News

2014

第50期 事業のご報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日

- Contents
- トップメッセージ
 - 特集
 - 財務ハイライト
 - セグメント別事業概況
 - トピックス
 - 会社概要



おかげさまで

50th Anniversary



トップメッセージ

好業績を追い風に、
さらなる成長ステージへ向かいます。



代表取締役社長

洞下 英人

■ 当期(平成26年3月期)の 業績についてお聞かせください。

Q1

A1 当社グループの当期実績は、売上高が172億9百万円(前連結会計年度比13.9%増)、経常利益は14億72百万円(同75.1%増)となり、過去最高の業績を達成することができました。主力製品のあと施工アンカーやアンカー施工ツール関連製品の好調な販売に加え、太陽光発電市場向け製品の需要が伸びました。センサー事業の主力製品である「アルコール測定器」も、物流会社や公共交通機関、交通サービス会社からの受注が増え、前期の営業赤字から一転し、当期に黒字転換を果たしました。

業績好調の背景には市場の活況に加え、当社グループの製品とサポートを一体化した総合サービスがお客様から高い評価をいただいていることにあります。当社は穿孔～アンカー施工～確認試験までの幅広い商材を取り揃え、ファスニング(締結)に関わるニーズにトータルにお応えするシステムを構築しております。また、製品開発にあたっては、自社製品が使われる現場で自ら施工管理を行い、そこで得た情報を新たな製品開発に活用することで、お客様視点から新たな製品とサービスを提供しております。

■ 次期の見通しについて お聞かせください。

Q2

A2 当初の計画では、51期(平成27年3月期)に売上高170億円、経常利益10億円を掲げておりましたが、売上高、

■ 経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

■ 社 是

創り、活かし、満たす
「人のお役に立つために、
創造提案型企業をめざす」

■ 社 訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに
貢献します

■ 心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。こうした日々の実践を通して活気あふれる職場づくりを目指しております。

「社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業プログラム
『倫理17000』の第1号に認定



経常利益とともに50期に前倒して達成しましたので、売上高180億円、経常利益15億24百万円と改めて設定しました。

主力製品のあと施工アンカーや太陽光発電市場向け製品の需要は引き続き堅調であるとみています。東北地域の復興事業はインフラ関連の建設が本格化しており、当社では被災した仙台支店を新設し、東北にしっかりと根を張って幅広い需要に対応してまいります。また、2020年開催の東京オリンピック特需を視野に入れたプロジェクトチームを社内にも立ち上げ、新製品の投入と用途開発に取り組んでおります。

一方、海外戦略については、日本での高付加価値なものづくりを海外でも展開すべく、タイ工場での生産やベトナムでの販売会社設立を経て、東南アジアにおける販売網の拡大に取り組んでおります。海外売上高は北米・欧州を含めて毎年伸長を続け、当期は6億86百万円の売上高を達成しました。引き続き高い成長率を維持し、海外展開を拡充してまいります。

創業50周年を迎えました。 株主・投資家の皆様に メッセージをお願いします。

A4 1964年に「現場で安全に留めつけできる製品はないか」というお客様のご要望にお応えすることから誕生したのが、当社の主力製品であるオールアンカーです。お陰様で、発売から半世紀経った今なおロングセラーを続けております。さらにアンカー単品の開発から施工ツールの開発へと裾野を広げ、現場ニーズに最適な確認試験機へと商材を広げてまいりました。最近では、アンカー開発で培ってきた技術が、太陽光発電の架台を固定する「あと基礎アンカー」の開発へとつながっております。

当社の成長は、お客様の声を喜びとし、社員一人ひとりが努力を積み重ね、地道に製品に磨きを掛けてきた結果といえましょう。

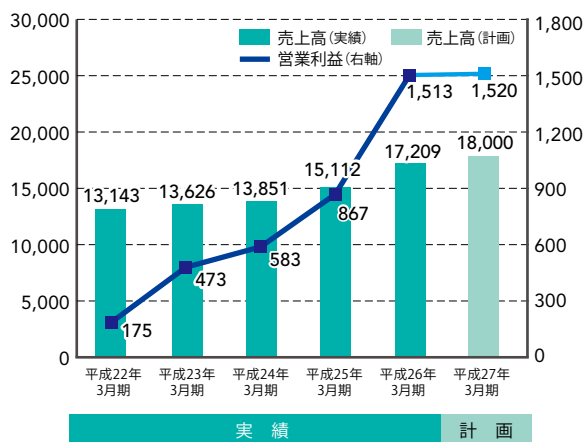
今後とも、安定した事業活動を継続してまいりますので、何卒、よろしくお願いいたします。

経営改革の状況は いかがですか？

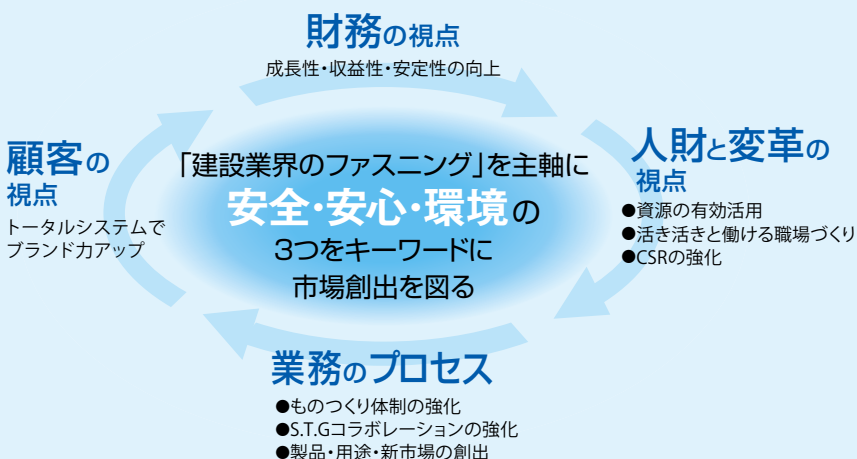
A3 当社グループでは、2010年から経営スローガン『チャレンジ35』と名付けた3つの抜本的な構造改革に取り組んでおります。2010年はマーケティング思考を根幹に置いた「事業部制」を導入し、ファスニング事業、リニューアル事業、センサー事業の3つのセグメントに分け、迅速な意思決定の仕組みを構築しました。翌年には「基幹システム」の改革に着手し、事業部制によってできあがった開発・購買・製造・物流・販売のサプライチェーンをITによって最適化。お客様のもとに製品をスピーディにお届けする仕組みを実現しました。現在のテーマは「人財改革」です。従来の人事制度を見直し、目標達成に向けた意識を評価や役職などの制度面から強化。2014年は「創造的破壊」を活動のコンセプトに置き、新しいことにチャレンジできる組織へと生まれ変わるよう、社員一人ひとりの意識改革と事業競争力の強化に取り組んでおります。

●過去5年間の業績推移と計画

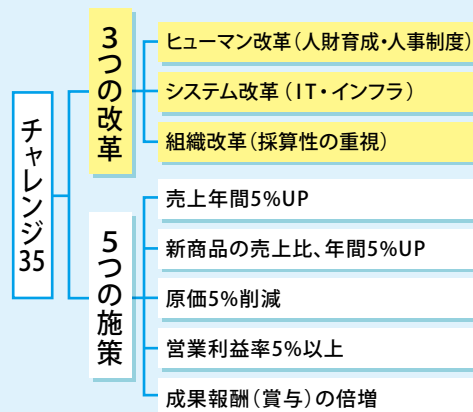
(単位:百万円)



■ 中期経営ビジョン・戦略 PLAN2015



■ 経営スローガン・チャレンジ35



特集

サンコーテクノ50年の歩み ～ 信頼を積み重ね、これからも…

2014年5月15日を持ちまして、当社は創立50周年を迎えました。この記念すべき50年という節目の年を迎えることができましたのも、これまでさまざまな形で私たちを支えてくださったお客様・ご関係の皆様のおかげであり、心より御礼申し上げます。

当社は建設用鉚打ち銃・ピン・アンカー・工具などの販売からスタートしました。以降、オールアンカーの製造から施工・確認ツールなど、ファスニングをトータルシステムとしてとらえ、常に新しい価値の創造に取り組んでまいりました。これからも、新しい価値を創造し続け、安心・安全な社会に貢献してまいります。

売上高
(百万円)

20,000

16,000

12,000

8,000

4,000

0



1964年～1969年

- 1964年 三幸商事(株)設立
- 1965年 オールアンカー実用新案登録
- 1966年 三幸工業(株)設立
- 1968年 名古屋営業所・大阪営業所開設
オールアンカー全国販売開始
- 1969年 ルーフボルト開発



1970年～1979年

- 1970年 オールアンカー代理店制度を導入
- 1972年 東京都足立区に技術研究所を設置、
従業員 50 名突破
- 1975年 仙台営業所・札幌連絡所開設、
サンルー・ALCアンカー開発
- 1976年 福岡営業所開設・流山市に工場
新築、オールドリル・オールコア
ドリル開発
- 1977年 奈良工場新設、従業員 100 名突破、
東京中小企業投資育成(株)より資本
参加
- 1979年 岡山営業所開設、サンビック
アンカー開発

1980年～1989年

- 1980年 奈良工場新築 (移転)
- 1981年 アルコスクリュー開発
- 1982年 従業員 150 名突破、プレスアン
カー開発
- 1983年 横浜営業所開設
- 1986年 広島営業所・鹿児島営業所開設
- 1987年 静岡営業所・金沢営業所開設、
従業員 200 名突破
- 1988年 台湾・タイに子会社設立、
関宿工場 (現・野田工場)
新築落成、オールドリル SDS 開発
- 1989年 新潟営業所開設



1 期
1964

2 期

3 期

4 期

5 期

6 期

7 期

8 期

1970

9 期

10 期

11 期

12 期

1975

13 期

14 期

15 期

16 期

1980

17 期

18 期

1985

19 期

20 期

21 期

22 期

23 期

1985

24 期

25 期

26 期

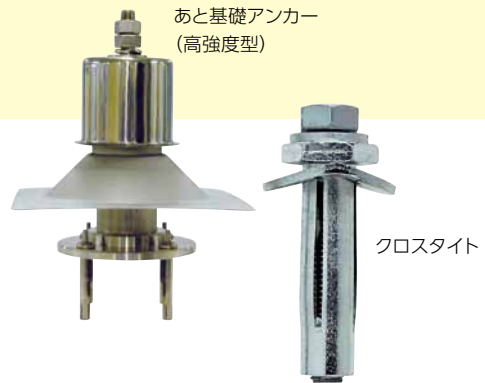


1990年～1999年

- 1990年 高松営業所開設
- 1991年 本社工場流山工業団地へ移転、従業員 300 名突破
- 1992年 サンビックアンカー改良開発
- 1993年 西部物流センター開設、ALC ドライブ・ボードタップ開発
- 1994年 スリーエスコア開発
- 1995年 JCAA 資格制度実施、アンカーハンマー発売
- 1996年 三幸商事と三幸工業が合併、サンコーテクノ(株)が誕生**
- 1997年 テクノデスター・トルコアンカー開発・HP アンカー発売
- 1998年 中央物流センター開設、自動倉庫連携システム本稼働
- 1999年 サンシート・サンパッチシート開発、ISシステム・サンディールパック発売

2000年～2009年

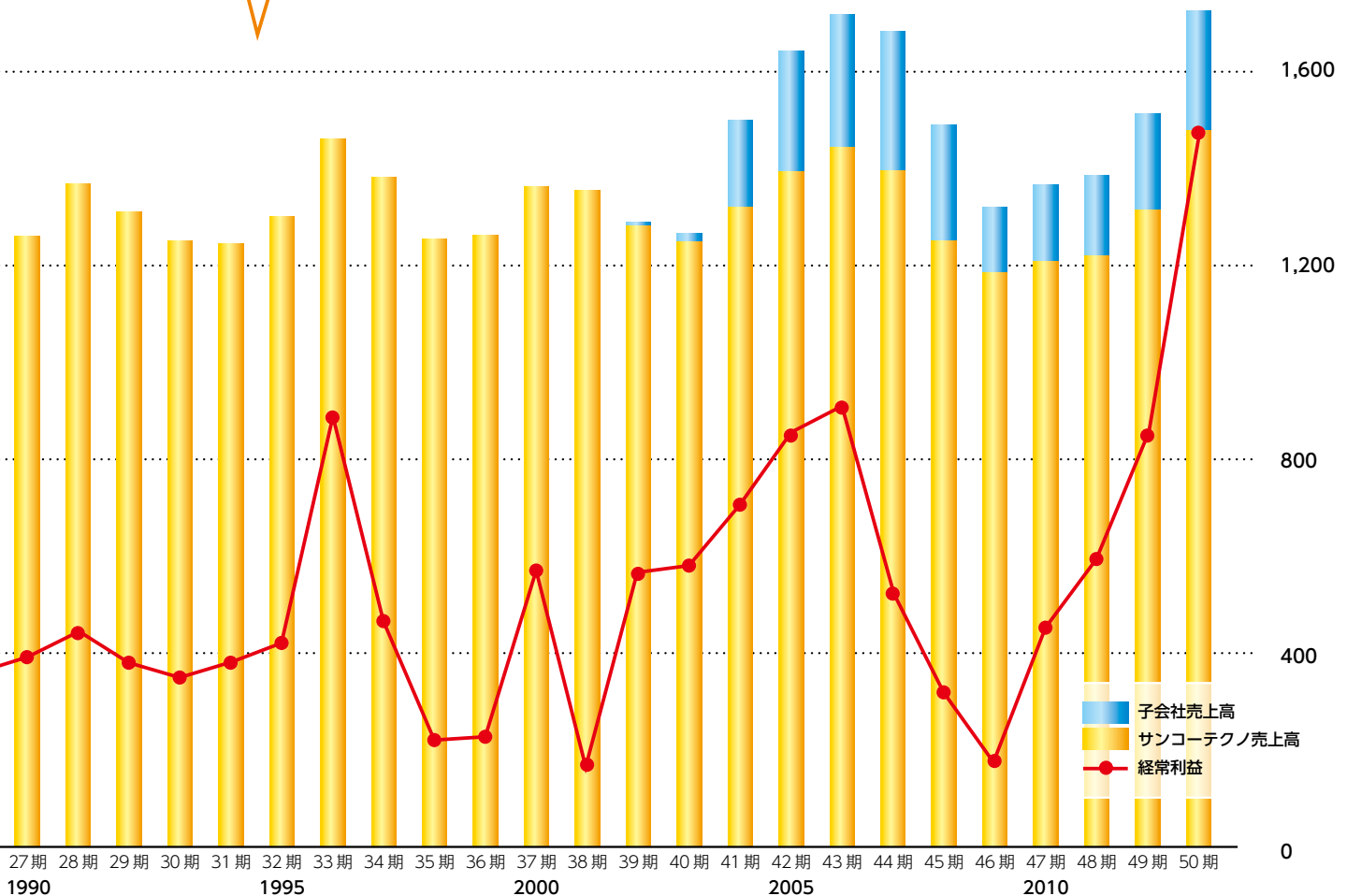
- 2000年 フィキシングフォーム発売
- 2001年 テクノL&Iセンター (ショールーム) 開設
- 2003年 (株)スィコー子会社化
- 2004年 (株)IKK 子会社化、「倫理 17000」ライセンス取得 (第1号)
- 2005年 ジャスダック証券取引所に上場**
- 2006年 テクノパネルシステム発売
- 2007年 本社を移転 (千葉県流山市)**
- 2008年 南流山事業所開設
- 2009年 広島事業所開設、事業部制導入、アンカー打込機 他3製品発売



2010年～2014年

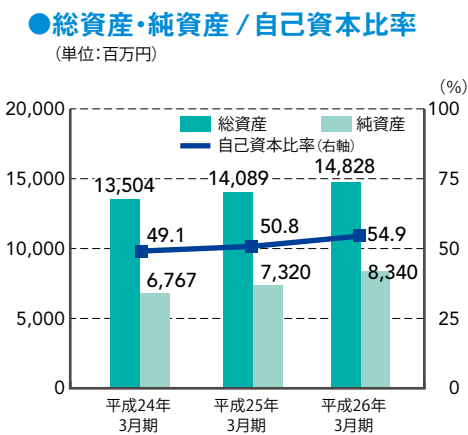
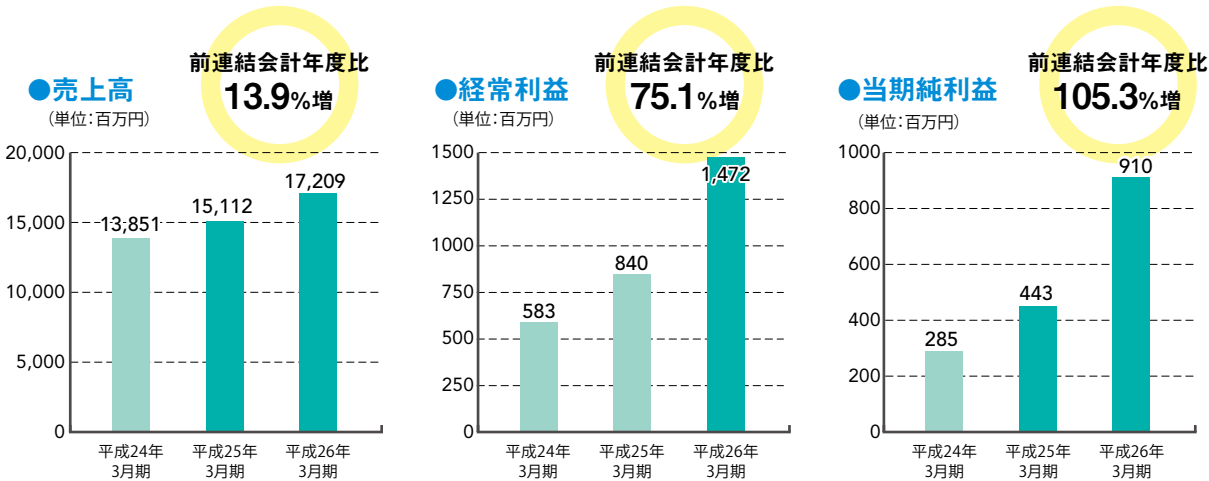
- 2010年 センサー事業発足、ハードエッジドライブ発売、あと基礎アンカー開発
- 2011年 新基幹システム導入、サンシート改良品販売
- 2012年 クロスタイト・オールコアドリル L150シリーズ開発、ディー・アーススクリュー本格販売
- 2013年 創立 50 年
本社を移転 (千葉県流山市南流山)
- 2014年 e-シートクイック発売

経常利益
(百万円)
2,000



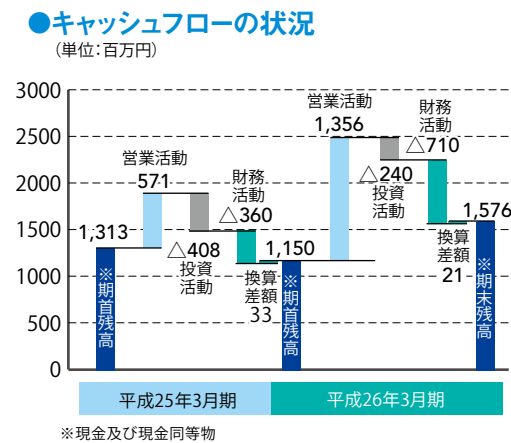
財務ハイライト

当社グループは、中期経営ビジョンのもと、安全・安心・環境をキーワードに、ものづくり企業として事業の拡大に努めました。引き続き主力製品のあと施工アンカーの売上が好調であったほか、太陽光発電市場向け製品が好調に推移したことから、当連結会計年度における売上高は 17,209 百万円（前連結会計年度比 13.9%増）となりました。利益面では、高付加価値製品の販売促進やコスト削減の継続も奏功し、経常利益は 1,472 百万円（同 75.1%増）、当期純利益は 910 百万円（同 105.3%増）となり、増収増益を確保しました。



●通期業績(要約)
(当連結会計年度:平成25年4月1日～平成26年3月31日 前連結会計年度:平成24年4月1日～平成25年3月31日)
(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	増 減
売 上 高	17,209	15,112	13.9%
営 業 利 益	1,513	867	74.5%
経 常 利 益	1,472	840	75.1%
当期純利益	910	443	105.3%



●貸借対照表(要約)
(当連結会計年度:平成26年3月31日現在 前連結会計年度:平成25年3月31日現在)
(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	増 減
流 動 資 産	8,369	7,760	7.8%
固 定 資 産	6,459	6,329	2.1%
資 産 合 計	14,828	14,089	5.2%
科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	増 減
流 動 負 債	5,051	5,421	△6.8%
固 定 負 債	1,436	1,348	6.6%
純 資 産	8,340	7,320	13.9%
負債・純資産合計	14,828	14,089	5.2%

セグメント別事業概況

ファスニング事業

あと施工アンカー、建設資材の留め具であるファスナーなどの締結資材やドリルビット、電動油圧工具等を製造・販売しています。



リニューアル事業

あと施工アンカーをはじめとする締結技術を応用し、各種構造物を守る工法を開発、耐震補強等に活用しています。



センサー事業

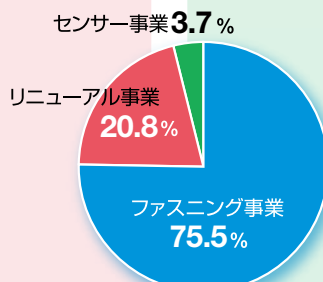
車両の表示板用や工事・事故の表示板用、観測機向けなどの電子プリント基板や各種測定器の生産・販売を行っています。



●セグメント別売上高構成

(平成26年3月期)

※セグメント間取引を含んでいるため、合計額は連結売上高と一致していません。



建設資材の不足などから工事の着工に遅れが出ましたが、都市圏を中心とした再開発需要の伸びや維持保全需要の回復を受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーや電動油圧工具の販売が好調に推移しました。

●売上高
13,086百万円
●セグメント利益
1,122百万円

太陽光関連ではメガソーラー物件の受注や公共投資の増勢により、中規模物件の引合いが伸長したほか、ハウスメーカー関連商品が好調に推移しました。

●売上高
3,605百万円
●セグメント利益
360百万円

電子基板関連で試験機関連製品が好調に推移したほか、アルコール測定器の定期校正に伴う安定的収益の確保等により堅調な伸びをみせました。

●売上高
647百万円
●セグメント利益
15百万円

Topics

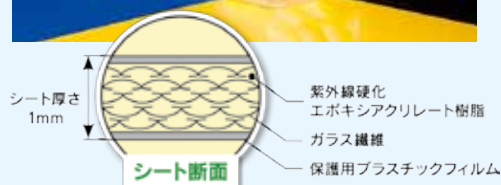
ε-シートクイック 販売開始

従来の紫外線硬化FRPシート※「サンパッチシート」の特徴はそのままに、揮発性有機化合物（VOC）を材料に使用しないことで低臭気・室内環境対応を実現しました。



これにより一般消費者の方でも安全に使用できるようになり、今まで使用が難しかった室内（浴室・洗面所）や食品関連、水道用水槽などの補修・補強へと適用範囲が広がりました。

※紫外線硬化FRP（繊維強化プラスチック）シートとはガラス繊維などの補強材に、紫外線硬化エポキシアクリレート樹脂を含浸させた、約1mmのFRPシートで、太陽光などの紫外線や紫外線蛍光灯（ケミカルランプやブラックライト）の照射にて化学反応が起こり、短時間で硬化します。



免責事項

本資料の将来に係る記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

会社概要

(平成26年3月31日現在)

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	308名(連結569名)
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535 FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、 複合材、防水材、各種測定器の企画開発・製造・ 販売・施工及び輸出入

役員

代表取締役社長	洞下 英人
取締役副社長	佐藤 静男
常務取締役	洞下 正人
常務取締役	八谷 剛
常務取締役	上石 茂行
取締役	佐藤 靖
監査役	甲斐 常敏
監査役	鈴木 英雄
監査役	塙 善光

関連会社

連結子会社	SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社IKK アイエスエム・インタナショナル株式会社 株式会社スイコー SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 株式会社サンオー
持分法適用関連会社	株式会社サンオー
持分法非適用関連会社	株式会社イーオプティマイズ

株式の状況

(平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	17,000,000株
発行済株式の総数	4,372,704株
株主数	1,928名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 英人	574	13.14
東京中小企業投資育成株式会社	360	8.23
有限会社サンワールド	340	7.77
サンコーテクノ社員持株会	230	5.26
新井 栄	131	2.99
洞下 照夫	107	2.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	89	2.05
株式会社みずほ銀行	89	2.03
佐久間 菊子	83	1.91
佐藤 静男	80	1.84

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式(303千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

サンコーテクノ株式会社

〒270-0163 千葉県流山市南流山三丁目10番地16

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ スタンダード
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.sanko-techno.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事 由によって電子公告をする事ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

株式分割について

投資家の皆様により投資しやすい環境を整え、一層の投資家層の
拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的とし、当社普通株
式を1株につき2株の割合をもって分割いたしました。なお、株式の分
割に伴う株主の皆様への実質的な影響はございません。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社

連絡先


0120-288-324

お問い合わせ先

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続きお取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の 証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取扱いたします。 ※カスタマープラザではお取り扱いできません のでご了承ください。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウジングではお取り扱いできません のでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行について は、右の「特別口座の 場合」の郵便物送付 先・電話お問合せ先・各 種手続きお取扱店をご 利用ください。	特別口座では、単元未満株式の 買取・買増以外の株式売買はでき ません。証券会社等に口座を開設 し、株式の振替手続を行っていた だく必要があります。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された
森からの木材を含んだ用紙に、「植物油インキ」を使用して印刷しました。

この印刷物は、復興支援の一環として、福島
県の印刷会社に、デザイン制作および製造を
依頼し発行したものです。